



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 宮城 晃

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	154,017	7.0	12,692	109.9	14,213	66.4	10,027	78.1
27年3月期第3四半期	143,980	△1.3	6,047	△55.4	8,542	△42.2	5,631	△39.7

(注)四半期包括利益 28年3月期第3四半期 10,138百万円 (△48.3%) 27年3月期第3四半期 19,619百万円 (△13.4%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	71.19	70.99
27年3月期第3四半期	39.98	39.88

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	304,561	237,540	234,552	77.0	1,665.33
27年3月期	300,272	231,568	228,857	76.2	1,624.93

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	6.9	14,000	97.7	14,500	27.8	10,000	18.4	71.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	143,378,085 株	27年3月期	143,378,085 株
28年3月期3Q	2,534,181 株	27年3月期	2,537,276 株
28年3月期3Q	140,839,694 株	27年3月期3Q	140,838,338 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。これらのリスクや不確実性、その他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。

- ・経済環境の悪化により国内市場及び海外市場の景気が低迷し当社の業績が悪化するリスク
 - ・国内の百貨店、量販店及びその他一般小売店の業績不振や営業政策の変更によって当社が影響を受けるリスク
 - ・消費者の嗜好を的確に予測しそれに応える能力及び高品質な商品を提供する能力が期待される成果を生み出さないリスク
 - ・激しい市場競争により当社の販売シェアや利益率が低下するリスク
 - ・直営店事業ネットワークの拡大が売上や利益の拡大につながらないリスク
 - ・WEB販売の強化による売上増加が達成できないリスク
 - ・販売不振による在庫の増加が業績を悪化させるリスク
 - ・コスト削減が成功せず利益が減少するリスク
 - ・有能な人材確保ができず人材が不足するリスク
 - ・季節の天候不順の影響により業績が悪化するリスク
 - ・海外事業に関連して増加するリスク
 - ・買収及びその他第三者との戦略的提携等の成否に関するリスク
 - ・新市場の開拓における投資の回収に関するリスク
 - ・知的財産権に関連するリスク
 - ・情報システムに関するリスク
 - ・個人情報保護や当社の機密保持に関するリスク
 - ・内部統制に関連するリスク
 - ・有価証券に関連するリスク
 - ・自然災害、疫病の発生等に関するリスク
- これらの詳細については、当社の有価証券報告書をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(重要な後発事象)	P. 11
(6) 販売の状況	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

①当第3四半期の業績

当社グループでは3カ年中期経営計画（2013～2015年度）の最終年度を迎え、引き続き主力事業会社である株式会社ワコールを中心に、多様化する国内レディスインナー市場への対応による売上シェアの拡大と、レディスインナー事業以外の体制整備、また海外事業の積極的な展開による成長力・収益力強化に取り組みました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期の連結業績は、国内事業については、消費税増税後の消費者の購買意欲が低迷するなか、主力の卸売チャネルの売上伸び率は上期に比べ鈍化したものの、直営店舗の売上やインバウンド需要が下支えし、売上は前年同期を上回りました。海外事業につきましても、円安により売上が嵩上げされ、全体の売上高は前年同期を上回りました。利益面では、株式会社ピーチ・ジョンにおいて、前年同期に計上した減損損失の影響がなくなったことから、全体の営業利益は前年同期を大きく上回りました。

●売上高	1,540億17百万円	(前年同期比	7.0%増)
●営業利益	126億92百万円	(前年同期比	109.9%増)
●税引前四半期純利益	142億13百万円	(前年同期比	66.4%増)
●当社株主に帰属する四半期純利益	100億27百万円	(前年同期比	78.1%増)

②オペレーティング・セグメントの営業概況

a. ワコール事業（国内）

国内事業においては、選別消費の傾向に変化がみられない上、11月の気温が平年を上回って推移したことから卸売チャネルを中心に苦戦し、第3四半期（10月～12月）は厳しい商況となりました。

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、冬の主力商品である肌着が苦戦したものの、都心部の百貨店チャネルにおける引き続き旺盛なインバウンド需要や申年にちなんだ縁起物の赤の下着が話題となり、ショーツ全体が好調に推移したことから、事業本部全体の売上は前年同期並みとなりました。

ウイングブランド事業本部につきましては、秋のキャンペーン商品のボトムは苦戦しましたが、主力アイテムであるブラジャーは、商品ごとに好不調の波はあるものの全体では堅調に推移しました。また、冬の肌着は薄手商材を品揃えしたことにより堅調に推移し、ティーン向けブランドの展開店舗が拡大したことも寄与し、事業本部全体の売上は前年同期並みとなりました。

小売事業本部につきましては、直営店「AMPHI（アンフィ）」では、入店客数が減少しているものの、スタイリストやモデルとのコラボ商品などが好調に推移したことや、季節のイベントやテーマに沿った商品展開が一人当たりの平均購買単価アップにつながりました。また、アウトレットモールで展開する「ワコールファクトリーストア」も空港周辺エリアでのインバウンド需要が大きく寄与し、事業本部全体の売上は前年同期を大きく上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、スポーツコンディショニングウェア「CW-X（シーダブリューエックス）」は、スポーツチェーン店をはじめ既存チャネルで売上が苦戦したものの、他社ECサイトが好調に推移したことや、デイリーユース向けの新商品などを投入した結果、事業部全体の売上は前年同期並みとなりました。

通信販売事業部につきましては、カタログ販売については、冬号の受注減少などが影響し、前年同期を下回りました。また、ウェブストアについては、前年のサイト閉鎖の影響がなくなったことと、スマートフォンからの動員強化により来訪客数が、大幅に増えたことにより好調に推移しました。その結果、事業部全体の売上は前年同期並みとなりました。

当期に三愛グループから事業譲受しました水着事業と下着直営事業を展開する国内子会社株式会社Ai（アイ）については、水着事業は、夏場の天候不順の影響を受け売上計画を下回りました。併せて、下着事業も売上計画を大幅に下回りました。

以上の結果、主力事業会社ワコールの売上の増加と株式会社A iの売上が新たに加わったことにより、ワコール事業（国内）セグメント全体の売上高は、前年同期を上回りました。利益面につきましても、株式会社ワコールの売上の増加により、営業利益は前年同期を上回りました。

●売上高	922億13百万円	(前年同期比	7.1%増)
●営業利益	84億15百万円	(前年同期比	5.4%増)

b. ワコール事業（海外）

米国ワコールにつきましては、売上面では、米国内における主力のワコールブランドが前年同期並みに推移したことに加え、ECサイトおよび周辺国、欧州向け輸出も好調に推移した結果、全体の売上は前年同期を上回りました。利益面では、30周年記念PR費の計上による販管費などの増加により、営業利益は現地通貨ベースでは前年同期を下回りましたが、邦貨換算ベースでは前年同期を上回りました。

ワコールヨーロッパは、売上面では、英国についてはワコールブランド商品展開の拡大などで堅調に推移しました。また、米国でも他社ECサイトの売上が伸長し、順調に推移しました。しかし、ユーロ圏では、不安定な政治・経済状況に加え、パリのテロなども影響し消費意欲が回復せず、特にフランスにおいて売上が大幅に減少しました。その結果、全体の売上は現地通貨ベースでは前年同期を下回ったものの、邦貨換算ベースでは前年同期を上回りました。利益面では、売上の減少やドル高による仕入れ原価の上昇により、営業利益は前年同期を大きく下回りました。

中国ワコールにつきましては、景気の減速感が強まっている中、売上面では、主力のワコールブランドの売上伸び率は、上期に比べ鈍化したものの順調に推移し、併せて他社ECサイトやアウトレット販売なども伸長しました。一方、中間層向けブランド「LA ROSABELLE（ラ・ロッサベル）」については、好調に推移しているものの既存店舗は苦戦しており、店舗採算を重視して出店計画を大幅に見直しました。その結果、全体の売上は前年同期を上回りました。利益面では、現地材料調達を拡大したことや、粗利益率の高いチャンネルでの販売構成比を高めたことから売上利益が増加し、営業利益は前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、ワコール事業（海外）セグメント全体の売上高は、前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

●売上高	393億55百万円	(前年同期比	10.8%増)
●営業利益	36億36百万円	(前年同期比	8.3%減)

c. ピーチ・ジョン事業

主力の通信販売の売上につきましては、スマートフォンからの訪問者数は増加しているものの、購買率が低迷していることに加え、サイト上でのセール期間を短縮したことも影響し、前年同期を大きく下回りました。国内直営店の売上は、インバウンド需要も寄与し、前年同期を大きく上回りました。他社ECサイトについても、構成比は低いものの好調に推移しました。また、海外事業につきましては、香港は店頭売上が苦戦しましたが、中国では不採算店舗の撤退を行い、他社ECサイトへ移行したことにより売上が拡大し、邦貨換算ベースでは前年同期を上回りました。

以上の結果、ピーチ・ジョン事業セグメント全体の売上高は、前年同期を下回りました。利益面では、価格設定の見直しやセールの抑制による売上利益の改善、PR費・制作費などの抑制に努めたことや前年同期に計上した減損損失の影響がなくなった結果、営業損失から大きく改善しました。

●売上高	84億24百万円	(前年同期比	3.4%減)
●営業利益	4億40百万円	(前年同期は営業損失61億40百万円)	

d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、主力のインナー事業は、大手得意先向けの新価格帯商品が堅調に推移したものの、アパレル事業が前年同期を大幅に下回った結果、ルシアン全体の売上は前年同期を下回りました。また、利益面についても円安の影響で売上利益率が悪化し、大幅な営業損失となりました。

株式会社七彩につきましては、レンタル事業の売上については前年同期並みでしたが、新規の商業施設やアパレルブランドからの大型受注を受けて工事業が前年同期を大きく上回りました。また、物販事業も工事受注に伴う什器納品が拡大した結果、全体の売上は前年同期を大きく上回りました。利益面については、売上の増加により営業利益は前年同期を大きく上回りました。

これらの結果、その他セグメント全体の売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を大きく下回りました。

●売上高	140億25百万円	(前年同期比	2.6%増)
●営業利益	2億01百万円	(前年同期比	14.1%減)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債、株主資本等の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、投資や建設仮勘定の増加などにより、前連結会計年度末に比して4,289百万円増加し、3,045億61百万円となりました。

負債の部は、その他の固定負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して16億83百万円減少し、670億21百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比して56億95百万円増加し、2,345億52百万円となりました。

以上の結果により、当第3四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.8%増加し、77.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して5億30百万円増加し、389億40百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益103億14百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、120億00百万円の収入(前年同期に比し19億28百万円の収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得や無形固定資産の取得などにより、60億11百万円の支出(前年同期に比し35億58百万円の支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、54億25百万円の支出(前年同期に比し12億8百万円の支出減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結予想数値につきましては、平成27年5月11日発表時から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	38,410	38,940	530
定期預金	2,687	2,455	△ 232
有価証券	2,387	1,747	△ 640
売掛債権	26,544	23,879	△ 2,665
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,409	△ 2,878	△ 469
たな卸資産	42,893	45,572	2,679
繰延税金資産	5,488	3,886	△ 1,602
その他の流動資産	4,264	5,495	1,231
流動資産合計	120,264	119,096	△ 1,168
II. 有形固定資産			
土地	22,009	21,957	△ 52
建物及び構築物	64,038	64,432	394
機械装置及び工具器具備品等	16,760	17,232	472
建設仮勘定	923	4,177	3,254
	103,730	107,798	4,068
減価償却累計額	△ 54,542	△ 56,146	△ 1,604
有形固定資産合計	49,188	51,652	2,464
III. その他の資産			
関連会社投資	22,052	20,481	△ 1,571
投資	59,963	63,167	3,204
のれん	18,750	18,807	57
その他の無形固定資産	12,739	12,783	44
前払年金費用	10,577	11,434	857
繰延税金資産	982	984	2
その他	5,757	6,157	400
その他の資産合計	130,820	133,813	2,993
資産合計	300,272	304,561	4,289

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	10,038	13,454	3,416
買掛債務			
支払手形	1,031	1,732	701
買掛金	11,346	11,560	214
未払金	6,686	4,706	△ 1,980
	19,063	17,998	△ 1,065
未払給料及び賞与	6,936	5,554	△ 1,382
未払税金	2,064	730	△ 1,334
その他の流動負債	4,201	6,096	1,895
流動負債合計	42,302	43,832	1,530
II. 固定負債			
退職給付に係る負債	1,680	1,392	△ 288
繰延税金負債	18,796	19,793	997
その他の固定負債	5,926	2,004	△ 3,922
固定負債合計	26,402	23,189	△ 3,213
負債合計	68,704	67,021	△ 1,683
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,642	29,685	43
III. 利益剰余金	155,264	161,066	5,802
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	10,831	9,332	△ 1,499
未実現有価証券評価損益	20,821	22,647	1,826
年金債務調整勘定	1,934	1,454	△ 480
V. 自己株式	△ 2,895	△ 2,892	3
株主資本合計	228,857	234,552	5,695
VI. 非支配持分	2,711	2,988	277
資本合計	231,568	237,540	5,972
負債及び資本合計	300,272	304,561	4,289

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	143,980	100.0	154,017	100.0	10,037
II. 営業費用					
売上原価	66,500	46.2	71,367	46.4	4,867
販売費及び一般管理費	65,412	45.4	69,958	45.4	4,546
のれん及び その他の無形固定資産減損損失	6,021	4.2	—		△ 6,021
営業費用合計	137,933	95.8	141,325	91.8	3,392
営業利益	6,047	4.2	12,692	8.2	6,645
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	95		113		18
支払利息	△ 78		△ 55		23
受取配当金	892		1,017		125
有価証券・投資売却 及び交換損益(純額)	1		90		89
有価証券・投資評価損	△ 14		△ 20		△ 6
絵画売却益	1,059		—		△ 1,059
その他の損益(純額)	540		376		△ 164
その他の収益・費用合計	2,495	1.7	1,521	1.0	△ 974
税引前四半期純利益	8,542	5.9	14,213	9.2	5,671
法人税等	3,320	2.3	4,900	3.2	1,580
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	5,222	3.6	9,313	6.0	4,091
持分法による投資損益	673	0.5	1,001	0.7	328
四半期純利益	5,895	4.1	10,314	6.7	4,419
非支配持分帰属損益	△ 264	△ 0.2	△ 287	△ 0.2	△ 23
当社株主に帰属する四半期純利益	5,631	3.9	10,027	6.5	4,396

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	5,895		10,314		4,419
II. その他の包括損益 — 税効果調整後					
為替換算調整勘定	8,111		△ 1,507		△ 9,618
未実現有価証券評価損益	5,748		1,811		△ 3,937
年金債務調整勘定	△ 135		△ 480		△ 345
その他の包括損益 合計	13,724		△ 176		△ 13,900
四半期包括損益	19,619		10,138		△ 9,481
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 350		△ 264		86
当社株主に帰属する四半期包括損益	19,269		9,874		△ 9,395

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 平成26年 4月 1日 至 平成26年12月31日)	(自 平成27年 4月 1日 至 平成27年12月31日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	5,895	10,314
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	3,765	3,508
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金(純額)	228	468
(3)繰延税金	△ 1,064	1,967
(4)固定資産除売却損益(純額)	23	△ 69
(5)絵画売却益	△ 1,059	-
(6)のれん及びその他の無形固定資産減損損失	6,021	-
(7)有価証券・投資売却及び交換損益(純額)	△ 1	△ 90
(8)有価証券・投資評価損	14	20
(9)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△ 18	△ 246
(10)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少	3,647	2,700
たな卸資産の増加	△ 2,382	△ 1,920
その他の流動資産等の増加	△ 971	△ 1,226
買掛債務の増加(△減少)	118	△ 1,258
退職給付に係る負債の減少	△ 1,190	△ 1,849
その他の負債等の増加(△減少)	764	△ 493
(11)その他	138	174
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,928	12,000
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 2,317	△ 2,223
2. 定期預金の減少額	2,249	2,444
3. 有価証券の売却及び償還収入	311	1,126
4. 有価証券の取得	-	△ 534
5. 絵画の売却収入	1,275	-
6. 有形固定資産の売却収入	163	366
7. 有形固定資産の取得	△ 2,578	△ 4,813
8. 無形固定資産の取得	△ 995	△ 1,107
9. 投資の売却収入	14	237
10. 投資の取得	△ 593	△ 522
11. 子会社株式の追加取得	△ 1	-
12. その他	19	△ 985
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,453	△ 6,011
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	△ 1,193	3,580
2. 長期債務の返済	△ 601	△ 4,570
3. 自己株式の取得	△ 1	△ 4
4. 当社株主への配当金支払額	△ 4,648	△ 4,225
5. 非支配持分への配当金支払額	△ 190	△ 206
6. その他	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,633	△ 5,425
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	1,800	△ 34
V. 現金及び現金同等物の増減額	6,642	530
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	30,658	38,410
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	37,300	38,940

補足情報

現金支払額		
利息	79	56
法人税等	4,206	5,297
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	436	617

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	ワコール事業(国内)	ワコール事業(海外)	ピーチ・ジョン事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	86,066	35,518	8,723	13,673	143,980	—	143,980
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,525	6,523	476	3,863	12,387	△ 12,387	—
計	87,591	42,041	9,199	17,536	156,367	△ 12,387	143,980
営業費用	79,604	38,075	9,208	17,302	144,189	△ 12,387	131,802
顧客関係償却	—	—	110	—	110	—	110
のれん及びその他の無形固定資産減損損失	—	—	6,021	—	6,021	—	6,021
営業費用計	79,604	38,075	15,339	17,302	150,320	△ 12,387	137,933
営業利益(△損失)	7,987	3,966	△ 6,140	234	6,047	—	6,047

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	ワコール事業(国内)	ワコール事業(海外)	ピーチ・ジョン事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	92,213	39,355	8,424	14,025	154,017	—	154,017
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,222	6,658	575	4,554	13,009	△ 13,009	—
計	93,435	46,013	8,999	18,579	167,026	△ 13,009	154,017
営業費用	85,020	42,377	8,559	18,378	154,334	△ 13,009	141,325
営業利益	8,415	3,636	440	201	12,692	—	12,692

(注) 各事業の主な製品

- ワコール事業(国内) …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他
- ワコール事業(海外) …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他
- ピーチ・ジョン事業 …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
- その他 …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マネキン人形、店舗設計・施工他

② 地域別情報

前第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	108,165	11,996	23,819	143,980
構成比	75.1%	8.3%	16.6%	100.0%
営業利益	2,009	1,466	2,572	6,047

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	114,391	13,558	26,068	154,017
構成比	74.3%	8.8%	16.9%	100.0%
営業利益	8,899	1,607	2,186	12,692

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(重要な後発事象)

① 子会社の設立及び事業譲受契約の締結

当社の子会社である株式会社ワコールが、平成27年11月13日付で合弁契約を締結し、以下の通りタイ王国において子会社2社を平成28年1月に設立いたしました。なお、平成28年1月27日付で、当該子会社2社とTextile Prestige Public Company Limited及びErawan Textile Company Limitedとの間でそれぞれ事業譲受契約を締結し、平成28年2月1日に材料事業を譲り受けることを予定しております。

a. 子会社の設立及び事業譲受契約の締結の目的

当社グループは今後の発展・成長が見込めるASEAN域内にてグローバルな材料・製品供給体制を築くことによって、グループ全体の製造品質とコスト競争の向上を実現するとともに、将来にわたって世界のワコールグループとお客様に付加価値の高い材料・製品を安定供給することを目指してまいります。

b. 設立する子会社の概要

名称 : A Tech Textile Co., Ltd.

所在地 : タイ王国 バンコク

事業の内容 : 経編、丸編、エンブレース製品等の企画・開発・製造・染色・販売

設立年月日 : 平成28年1月15日

資本金 : 1,000百万タイバーツ

出資比率 : 株式会社ワコール 54.2%、株式会社ヴィオレッタ 2.9%、東洋染工株式会社 2.9%、タイ側出資者 40.0%

※当該子会社への出資の額は当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、当社の特定子会社に該当しております。

名称 : G Tech Material Co., Ltd.

所在地 : タイ王国 バンコク

事業の内容 : モールド、丸編、ワイヤー製品等の企画・開発・製造・販売

設立年月日 : 平成28年1月12日

資本金 : 300百万タイバーツ

出資比率 : 株式会社ワコール 50.4%、コスモ株式会社 9.6%、タイ側出資者 40.0%

②固定資産の譲渡

当社は、平成28年1月29日開催の取締役会において、以下の通り固定資産（土地）を譲渡することを決議いたしました。

a. 譲渡の理由

当該資産は旧名古屋支店跡地であり、今後事業に使用する見込みがないことから、経営資源の有効活用を図るため譲渡することといたしました。

b. 譲渡資産の内容

資産の内容	: 土地（1, 370㎡）
所在地	: 愛知県名古屋市中区栄5丁目15番地
現況	: 駐車場用地として賃貸
譲渡資産の簿価	: 295百万円
譲渡価額	: 4, 149百万円

c. 譲渡先の概要

株式会社日本セレモニー

d. 譲渡の日程

取締役会決議日	: 平成28年1月29日
契約締結日	: 平成28年2月12日（予定）
物件引渡日	: 平成28年4月28日（予定）

e. 業績への影響

当該固定資産の譲渡に伴い、平成29年3月期第1四半期連結会計期間において、固定資産売却益約38億円を計上する見込みです。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第3四半期 自平成26年4月1日 至平成26年12月31日		当第3四半期 自平成27年4月1日 至平成27年12月31日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション・ランジェリー	107,531	74.7	114,849	74.6	7,318	6.8
	ナイトウェア	7,461	5.2	7,470	4.9	9	0.1
	リトルインナー	1,128	0.8	1,086	0.7	△42	△3.7
	計	116,120	80.7	123,405	80.2	7,285	6.3
アウターウェア・スポーツウェア等		12,242	8.5	14,928	9.7	2,686	21.9
レッグニット		1,906	1.3	1,711	1.1	△195	△10.2
その他繊維製品及び関連製品		6,097	4.2	5,582	3.6	△515	△8.4
その他		7,615	5.3	8,391	5.4	776	10.2
合計		143,980	100.0	154,017	100.0	10,037	7.0